



SAWARABI  
GROUP

特別養護老人ホーム  
第二さわらび荘

SAWARABI  
GROUP

特別養護老人ホーム

第二さわらび荘

みんなの力で、みんなの幸せを

創設者である山本孝之が脳卒中のリハビリ病院として山本病院を開業したのが1962年。以来、認知症のケアにとどまらず、リハビリ病院と授産所を中心に、高齢者、身体障がい者、知的障がい者のための施設を同じ敷地の中につくり、みなさんが自立を目指してリハビリや訓練を受けるとともに、お互いに助け合って暮らしてきたのが福祉村を中心とするさわらび会です。認知症への取り組み、医療と介護の連携、さらには子どもからお年寄り、健常者と障がい者の共生。ここにはそれが、ずっと昔からすべて揃っています。

「みんなの力で、みんなの幸せを」という理念に込められた、幸せとは自立して自由に生き、まわりの人に役立つ働きができる時に感じるものという想い。その想いを胸に、認知症をはじめとして医療や介護のさらなる研究を進めることはもちろん、さわらび会の存在や理念を世界中の人々にも広げ、すべての人がいつも笑顔で幸せに生きていける社会をつくるために、これからも全力をつくしていきます。

さわらびグループ CEO/DEO 山本左近

認知症介護の三原則

- 一.いつも暖かい愛情と笑顔で。
- 一.決して叱らず、制止せず。
- 一.今、できることをしていただく

Tel 0532-37-1209 Fax 0532-37-1226

E-mail dainisawarabi@sawarabi.or.jp

住所 〒441-8124 愛知県豊橋市野依町字山中19-17

交通のご案内

バス利用: 豊橋駅前バス停より豊鉄バス

「豊橋技科大線福祉村行」又は「豊橋技科大線りすば豊橋  
經由福祉村行」乗車～終点福祉村下車

自動車利用: 国道23号線野依I.Cから車で5分



医療法人・社会福祉法人

さわらび会

www.sawarabigroup.jp



特別養護老人ホーム

# 第二さわらび荘

隣接する福祉村病院と  
医療・介護連携

多職種連携による自立支援

看取り介護の実施

多職種連携による安心できる生活の提供

全室個室  
ユニット型



## 施設の特徴

愛知県で初めての全室個室ユニット型特養として2003年に開設しました。全国で初めて高齢者の認知症の治療やリハビリに取り組んだ福祉村病院が隣接しており、半世紀に渡る認知症の治療やリハビリの実績に基づいた介護・看護を提供しています。介護士、看護師、理学療法士、管理栄養士、介護支援専門員、嘱託医、相談員等の多職種連携により、質の高い生活を提供いたします。

定員 特養:104名、ショートステイ:10名

面積 6428.36㎡

利用料 16万円程度

要介護度4、介護保険1割負担、負担限度額段階が第4段階の場合です。利用料については減免制度もありますので、相談員とご相談ください。

## サービス内容

### 特別養護老人ホーム

概ね要介護度3以上で、常時介護が必要で在宅での生活を継続することが困難な方に施設サービス計画に基づいて入浴・排泄・食事などの介護・機能訓練・健康管理を受けていただく施設です。

### ショートステイ

期間限定で短期間入所し、日常生活のお世話などを受けていただくサービスです。介護者不在時や、介護者の身体的・精神的介護負担軽減を目的とした利用も可能です。

### 訪問介護

病気や高齢に伴い生活に介護を必要とされる方のお宅へホームヘルパーが伺い、食事作りや入浴、排泄などの介護を提供し、在宅での生活を支援します。

お問い合わせ:0532-37-1208

